

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	302	道路維持管理事業							
	この事務事業の位置		政策	快適で暮らしやすいまち								
			施策	便利で快適な住環境をつくろう								
			基本事業	道路								
	主管課名		道路河川課			課長名	成田明弘					
	この事務事業の開始時期		S50年、H2年、H12年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		道路法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	道路の安全確保、適切な維持管理を行うため、道路の維持補修工事、草刈、パトロール、ごみ拾い等の維持管理委託の発注及び直接修繕を行う。					道路管理者の責務として市道の施設管理等を行い、良好な市道の維持管理を行う。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①道路施設点検委託設計書作成 ②道路草刈委託設計書作成 ③委託業務発注 ④委託業者打合せ ⑤苦情処理 ⑥完了検査 ⑦支払い業務								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施				名称		単位					
					① 道路パトロール日数		日					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
認定市道					名称		単位					
					① 市道認定路線数		本					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
道路施設に異常が無い巡回を行い、損傷箇所をなくす					名称		単位					
					① パトロールによる異常発見件数		件					
					② 道路施設の修繕件数		件					
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。					名称		単位					
					① 歩道付道路の整備率		%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度実績値	H31年度計画値	H31年度実績値	R2年度計画値	R3年度目標値	R4年度目標値	R5年度目標値			
(1)の活動指標		① 日			52	51	51	51	51			
		②										
(2)の対象指標		① 本			892	931	950	950	950			
		②										
(3)の成果指標		① 件			72	95	95	95	95			
		② 件			147	200	200	200	200			
(4)の結果の成果指標		① %			90.4	90.4	90.8	91	91.2			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02	目	02
コスト		年度	H30年度実績値	H31年度計画値	H31年度実績値	R2年度計画値	R3年度目標値	R4年度目標値	R5年度目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	442,619	430,213	429,317	399,217	401,717			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	14,567	26,280	38,664	18,600	15,520			
	県支出金	千円	0	0	556	700	700	700	700			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	500	500	500	500			
	一般財源	千円	0	0	427,496	402,733	389,453	379,417	384,997			
人件費 B		千円	0	0	29,380.2	29,380.2	29,380.2	29,380.2	29,380.2			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	610×12	610×12	610×12	610×12	610×12			
正職員以外の人件費		千円	0	0	4,785	4,785	4,785	4,785	4,785			
その他の費用 C		千円	0	0	1,630	1,630	1,630	1,630	1,630			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	473,629.2	461,223.2	460,327.2	430,227.2	432,727.2			
単位あたりコスト ①		千円/本	0	0	531	495.4	484.6	452.9	455.5			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	302	道路維持管理事業
-------	-----	-----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	年々老朽化や増加する道路施設の修繕を行う必要がある
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	道路整備や開発により新規の道路施設が増えるため、市道認定は常に必要である
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	道路施設の異常を早期に発見する必要がある
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		道路パトロールの回数を増やす
	目的達成状況	内容		道路パトロールで発見された損傷箇所は修繕済みである
	市関与の必要性（実施手法）	内容		<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市の道路パトロールや市民からの情報提供により工事業者へ修繕依頼を行う
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		道路修繕事業、道路安全施設維持管理事業、街路樹維持管理事業を統合し修繕の効率化が図られている
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容		統合することで事務の時間が削減できている
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいないため

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	施設の老朽化や拡充及び区画整理の完了により管理すべき施設が増大し、維持修繕や安全対策など様々な案件が寄せられる。	対応策	個々の案件を精査し、その都度、必要な対応を行う。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	緊急修繕工事、指定修繕工事	変更 追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも地域住民のニーズに合わせた良好な施設の管理を行う。 適正な維持管理・点検により施設の長寿命化を図る（橋梁）。 道路ストック総点検を実施、修繕計画を策定し交付金を受けて修繕を実施していく（都市計画道路及び緊急輸送路）。 県道豊田知立線の移管に伴い維持管理が増大する。			
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	303	道路改良事業							
	この事務事業の位置		政策	快適で暮らしやすいまち								
			施策	便利で快適な住環境をつくろう								
			基本事業	道路								
	主管課名		道路河川課			課長名	成田 明弘					
	この事務事業の開始時期		かなり前			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		道路法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	道路の新設、狭い幹線道路拡幅整備や生活関連道路整備を行い交通事故や渋滞などの道路環境の悪化を防止・解消し、市内の道路交通網を整備する。					増加する車両等の安全確保と沿道住民や歩行者の安全と利便性向上のため、道路改良整備の必要がある。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等					①測量業務委託 ②実施設計業務委託 ③工事費積算 ④工事発注 ⑤現場監督 ⑥完了検査 ⑦支払い業務						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	国・県の補助金の確保が難しくなっている				名称		単位					
					① 発注件数		件					
					② 道路整備延長		m					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①認定道路 ②道路利用者					名称		単位					
					① 認定市道総延長		m					
					② みよし市民		人					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
①安全に利用できる道路形態にする ②道路を新設し、スムーズな移動経路を確保する					名称		単位					
					① 道路改良済延長		m					
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
誰もが安心して出かけられ、異動が円滑にできるための道路整備を推進する					名称		単位					
					① 都市計画道路の整備率		%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 件			1	1	1	1	1			
		② m			40	80	180	40	0			
(2)の 対象指標		① m			261,066	261,066	261,066	261,066	261,066			
		② 人			61,604	61,852	62,100	62,360	62,620			
(3)の 成果指標		① m			214,475	214,555	214,735	214,775	214,775			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %			81	81	81	81	81			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02	目	03
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	195,037	61,083	47,677	274,077	409,577			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	25,906	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	195,037	35,177	47,677	274,077	409,577			
人件費 B		千円	0	0	3,528	3,528	3,528	3,528	3,528			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	175×6	175×6	175×6	175×6	175×6			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	407	400	400	400	400			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	198,972	65,011	51,605	278,005	413,505			
単位あたりコスト ①		千円/m	0	0	0.8	0.2	0.2	1.1	1.6			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/人	0	0	3.2	1.1	0.8	4.5	6.6			

事務事業名	No.	303	道路改良事業
-------	-----	-----	--------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	渋滞緩和や安全な通行形態の確保ができ、市民の生活環境の向上に役立っており、成果は得られている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	人口、世帯の増加、自動車所有台数及び交通量の増加に伴い生活行動範囲が広がっており、計画どおりに事業を進めることが重要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境変化による目的の変更や追加は必要なく、計画どおりに事業進捗を図ることが重要である。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	依存財源も限られているため、成果の向上は難しい	
	目的達成状況	内容	市内都市計画道路整備率80.7%	
	市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 道路を築造し良好に管理していくことは道路管理者である市の責務である。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	道路の整備に関する事務事業の統廃合はできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	都市計画決定された道路を整備する場合の仕様変更はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	特定の受益者ではない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	市道黒笹三本木線の新設改良事業を日進市との協定に基づき、計画的に事業を進めるための依存財源の確保が必要。	対応策	日進市において、社会資本整備総合交付金を活用している。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	市道の 신설・改良整備	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも市道の整備改良により市民生活環境の向上を図る。	
コストの方向性		↓ 減少			
成果の方向性		→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	304	里道整備事業							
	この事務事業 の位置		政策	快適で暮らしやすいまち								
			施策	便利で快適な住環境をつくろう								
			基本事業	道路								
	主管課名		道路河川課			課長名	成田明弘					
	この事務事業の開始時期		昭和56年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市生活環境整備事業分担金の徴収に関する条例									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	行政区管理の里道を分担金を徴収し、整備を行う。 大規模集落 10% 大規模集落以外 20%					行政区管理の里道を各行政区から分担金を徴収し、里道の改良・新設整備を行うことにより、生活環境の向上及び利便の向上を図る。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①地元区長と施行箇所の確認 ②設計書作成 ③分担金徴収事務 ④工事発注 ⑤現場監督 ⑥完了検査 ⑦分担金徴収事務 ⑧支払い事務								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	変化していない				名称		単位					
					①	対象行政区	行政区					
				②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①利用する市民					名称		単位					
					①	市民	人					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
道路整備やカーブミラー等の設置を行い生活道路の利用、利便を向上する。					名称		単位					
					①	発注件数	件					
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。					名称		単位					
					①	歩道付道路の整備率	%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の活動指標		① 行政区			4	4	4	4	4			
		②										
(2)の対象指標		① 人			61,604	61,852	62,100	62,360	62,620			
		②										
(3)の成果指標		① 件			1	1	1	1	1			
		②										
(4)の結果の成果指標		① %			90.4	90.4	90.8	91	91			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02	目	03
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	29,963	16,100	45,000	18,000	18,000			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	2,996	1,610	4,500	1,800	1,800			
	一般財源	千円	0	0	26,967	14,490	40,500	16,200	16,200			
人件費 B		千円	0	0	4,633.4	4,704	4,704	4,704	4,704			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	197×7	200×7	200×7	200×7	200×7			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	509	510	510	510	510			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	35,105.4	21,314	50,214	23,214	23,214			
単位あたりコスト ①		千円/人	0	0	0.6	0.3	0.8	0.4	0.4			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	304	里道整備事業		
2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	生活道路整備やカーブミラー等の設置を行い生活道路の利便性を向上させており、成果は得られている。		
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	この事業に対する環境変化はなく今後も必要な事業であるため、見直す必要はない。		
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	生活道路の環境向上を望む行政区は多くあり、目的を見直す必要はない。		
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	できない。 事業促進に地元行政区負担が必要であり、地元行政区の負担には限りがある。			
	目的達成状況	内容	歩道計画整備率 90.4%			
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 道路整備は管理者である市の責務である。			
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	道路整備事業を他の事務事業と統廃合することはできない。			
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	各行政区からの要望内容は様々であり、事業内容を縮小すること等はできない。			
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	地元行政区の負担がある。 大規模集落 10% 大規模集落以外 20%		
3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	住環境の変化に伴い住民のニーズ内容が高度化している。	対応策	行政区要望に合わせた整備を実施する。	
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	里道の整備	変更・追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。	
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも地元行政区要望に合わせ改良・整備を行うことにより生活環境の向上を図る。				
コストの方向性		↑ 増加				
成果の方向性		→ 維持				

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	306	交通安全施設整備事業							
	この事務事業の位置		政策	快適で暮らしやすいまち								
			施策	便利で快適な住環境をつくろう								
			基本事業	道路								
	主管課名		道路河川課			課長名	成田明弘					
	この事務事業の開始時期			かなり前		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令			道路法								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	事務費 交通安全施設設置事業 カーブミラー設置 車止め設置 歩道設置事業					市道の危険箇所に交通安全施設の設置や歩道を設置することにより、交通の安全を確保する。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①道路照明灯：道路構造の基準に基づき設置を行う。 ②歩道整備：道路構造令に基づき整備を行う。 ③カーブミラー設置：道路構造の基準に基づき設置を行う。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	道路管理区域、人口及び自動車の増				名称		単位					
					① 道路照明灯設置本数	箇所	② カーブミラー設置本数	箇所				
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民					名称		単位					
					① 市民	人		②				
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
安全に利用できるようにする					名称		単位					
					① 交通事故件数	件		②				
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。					名称		単位					
					① 自転車・歩行者専用道路整備率	%		②				
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 箇所			3	3	3	3	3			
		② 箇所			10	10	10	10	10			
(2)の 対象指標		① 人			61,604	61,852	62,100	62,360	62,620			
		②										
(3)の 成果指標		① 件			300	300	300	300	300			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %			83.5	83.5	83.5	83.5	83.5			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02	目	04
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	33,457	100,366	141,860	65,860	44,860			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	5,000	10,000	5,000	5,000			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	33,457	95,366	131,860	60,860	39,860			
人件費B		千円	0	0	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	200×5	200×5	200×5	200×5	200×5			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	407	410	410	410	410			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	37,224	104,136	145,630	69,630	48,630			
単位あたりコスト		① 千円/人	0	0	0.6	1.7	2.3	1.1	0.8			
(トータルコスト/②)の対象指標		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	306	交通安全施設整備事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	市道の危険個所に高圧安全施設を整備することにより、交通安全に寄与し成果は得られている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	交通安全に対する事業は、各場所により対策方法が違っておりそれぞれにあった対策を講じているため見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市道における交通安全は、交通事故防止に寄与し安全に通行利用するための事業であるため見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	成果向上には、限りがある	
	目的達成状況	内容	歩道整備計画延長に対する歩道整備率 90.4%	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市道の整備は道路管理者である市の責務である。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	道路整備事業を他の事務事業と統廃合することはできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	道路構造令等に沿って交通安全施設を設置するため、仕様等の変更はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	特定の受益者ではない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	施設の老朽化等による施設更新の増大が懸念される。	対応策	適正な維持管理を実施し、老朽化に伴う施設破損等の防止を図る。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	交通安全施設の整備。	変更・追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも適正な施設管理を行い市道利用者の交通安全を図る。	
	コストの方向性	↑ 増加			
	成果の方向性	↑ 増加			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	312	都市計画道路整備事業							
	この事務事業の位置		政策	快適で暮らしやすいまち								
			施策	便利で快適な住環境をつくろう								
			基本事業	道路								
	主管課名		道路河川課			課長名	成田 明弘					
	この事務事業の開始時期		平成3年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		都市計画法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	市内に都市計画決定された都市計画道路を新設整備し、幹線道路網によるみよし市都市機能の向上を推進する。					三好中部特定土地区画整理事業の進捗に合わせ、街路整備を計画的に進めていく。また、既設の着手している路線の整備を順次進め、事業の効果を最大限に発揮していく。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等					①用地補償調査 ②測量業務委託 ③街路整備工事 ④完了検査 ⑤支払い事務						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	国・県の補助金の確保が難しくなっている				名称		単位					
					① 都市計画道路整備延長	m						
					② 用地取得面積	m ²						
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
みよし市事業による都市計画道路					名称		単位					
					① 蜂ヶ池線整備計画延長	m						
					② 三好中部特定土地区画整理関連計画延長	m						
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
① 県道三好沓掛線から国道153号までのアクセス時間を短縮する					名称		単位					
					① 三好沓掛線～国道153号間の所要時間	分						
② 区画整理事業に合わせた計画的整備により事業完了を図る					② 蜂ヶ池線進捗率 整備済延長/計画延長	%						
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する					名称		単位					
					① 都市計画道路の整備率	%						
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度実績値	H31年度計画値	H31年度実績値	R2年度計画値	R3年度目標値	R4年度目標値	R5年度目標値			
(1)の活動指標		① m			53,990	55,570	55,750	55,790	55,790			
		② m ²			273	2,742	350	5,000	5,000			
(2)の対象指標		① m			1,450	1,450	1,450	1,450	1,450			
		② m			1,530	1,530	1,530	1,530	1,530			
(3)の成果指標		① 分			7	7	7	7	7			
		② %			78	78	78	78	78			
(4)の結果の成果指標		① %			81	81	81	81	81			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	04	目	02
コスト		年度	H30年度実績値	H31年度計画値	H31年度実績値	R2年度計画値	R3年度目標値	R4年度目標値	R5年度目標値			
事業費（決算又は予算額）A		単位	0	0	184,761	138,466	282,155	84,075	19,095			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	5,075	6,800	6,800	0	0			
	県支出金	千円	0	0	13,600	3,500	8,350	0	0			
	地方債	千円	0	0	4,500	6,100	6,100	0	0			
	その他	千円	0	0	83,821	24,550	24,550	0	0			
	一般財源	千円	0	0	77,765	97,516	236,355	84,075	19,095			
人件費B		千円	0	0	4,368	4,368	4,368	4,368	4,368			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	260×5	260×5	260×5	260×5	260×5			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	509	510	510	510	510			
トータルコストA+B+C		千円	0	0	189,638	143,344	287,033	88,953	23,973			
単位あたりコスト		① 千円/m	0	0	130.8	98.9	198	61.3	16.5			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/m	0	0	123.9	93.7	187.6	58.1	15.7			

事務事業名		No.	312	都市計画道路整備事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	市内に都市計画決定された都市計画道路を新設整備し、幹線道路網によるみよし市都市機能の向上を推進しており成果が得られている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	都市計画決定されている道路を築造するにあたり、環境変化に左右されることがないため見直す必要はない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	都市計画決定時からの環境変化もなく、目的も見直す必要はない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	用地取得や地元調整も必要なことから事業推進には限界がある。		
		目的達成状況	内容	市内都市計画道路整備率 80.4%		
		市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市道を築造していくのは管理者である市の責務である。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	本事務事業と他の事務事業を統廃合することはできない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	用地交渉や工事発注設計には時間を要することから、事業費や人件費を削減することはできない。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	特定の受益者ではない。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	三好中部特定土地地区画整理事業に合わせた事業計画を実施するため、依存財源の確保が必要となる。	対応策	愛知県が策定した社会資本総合整備計画書の交付対象事業の一つとして事業を実施することにより依存財源を確保した。
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	都市計画道路の整備	変更 追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも計画的に整備を推進し、都市機能の整った住みやすい街みよし市を目指す。			
コストの方向性			↑ 増加			
成果の方向性			→ 維持			